

未来 ひだか

みらくる

日高農業改良普及センター

日高管内農業研究大会

我が家の経営の歩み
北海道指導農業士

日高管内4Hクラブ
北海道静内農業高等学校



令和元年度 日高管内農業研究大会出席者の方々

日高管内農業研究大会の開催

令和元年(2019年)12月9日に日高管内農業研究大会を開催しました(主催:農業研究大会実行委員会(構成:管内4Hクラブ))。研究大会は管内の4Hクラブの会員をはじめ、静内農業高校生、JA青年部、新規就農者、指導農業士・農業士会、町、JA、振興局、普及センター職員が出席しました(出席者42名)。水野弘樹実行委員長(平取町)による挨拶の後に、行われたクラブ活動紹介では、地域活動や各クラブ独自の活発な取り組みが報告されました。

「我が家の経営の歩み～農業の魅力～」(講師:指導農業士 春木 正友氏(日高町))と題しての講演では、今後、経営を担う青年達に大いに刺激となりました。グループディスカッションではクラブ活動の活性化を図るため、多くの具体的な意見が出され意義深い取り組みとなりました。最後に次年度の実行委員長となる田中駿副委員長(浦河町)から「来年も充実した研究大会にしていきたい」との力強い言葉がありました。普及センターでは振興局とともに本大会の支援を通じて担い手の育成に向けた取り組みを進めていきます。



クラブ活動紹介とグループディスカッションの様子

参考にしよう！ 現場で出来る取り組み紹介

ミニトマト栄養診断の紹介

【本所 地域第1係】

ミニトマトの栽培では、収量確保のために樹勢の管理が重要です。樹勢は温度や水、追肥管理で調節しますが、追肥のタイミングは経験や勘に頼る場合が多いと思われます。

地域第1係では葉柄の硝酸イオン濃度を測定して追肥管理の見える化に取り組んできました。促成作型、半促成作型では表1の硝酸イオン濃度を維持するように追肥を行う、または控えることで、良好な樹勢が保たれました。

硝酸イオン濃度は、コンパクト硝酸イオンメーターを使って簡単に測定できます。

～ 栄養診断の方法 ～

- ①果房直下葉の先端葉柄を約5本採取
- ②細断し、電子ばかりで1gを計測
- ③乳鉢に入れ、水を9mL添加し、すり潰す
- ④溶液を硝酸イオンメーターで測定
- ⑤測定数値×10＝硝酸イオン濃度

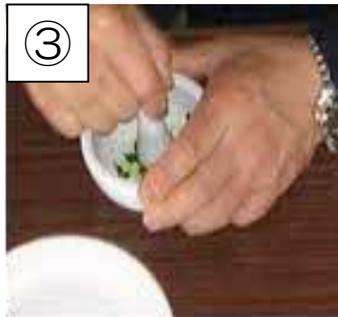
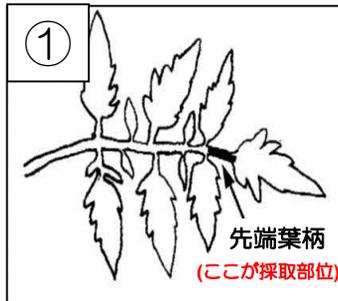


表1 先端葉柄の硝酸イオン濃度の目安

	目標とする硝酸イオン濃度
第1果房直下葉の葉柄 (第3果房開花期に計測)	8,000ppm～10,000ppm
第2果房直下葉の葉柄 (第5果房開花期に計測)	7,000ppm～9,000ppm
第3果房直下葉の葉柄 (第7果房開花期に計測)	6,000ppm～8,000ppm

倉庫改造による繁殖牛増頭の取り組み

【本所 地域第2係】

浦河町のAさんは普及センターの経営分析により自分の経営状態を把握することができました。その中で繁殖牛の頭数が少ないことが課題として理解でき、増頭する必要性を認識しました。新しい牛舎は資金面から新築することは困難でした。

そこで生産者・農協・普及センターと協議を重ね、廃プラ置き場の倉庫を牛舎へ改造することにしました。低予算で機械作業が可能な牛舎へと改造することができました。

その後、繁殖牛を2頭導入し、順調に規模拡大が図られています。Aさんは「除糞作業が容易になり、暴風対策もしたため暖かい。今後さらに増頭したい。」と前向きに取り組んでいます。



廃プラ置き場



牛舎にするために廃プラ撤去



完成した牛舎

参考にしよう！ 現場で出来る取り組み紹介

育成牛の発育を高めよう

【日高西部地域係】

日高西部地区乳検データの除籍牛（2010～2018）の生涯日所得を見ると生産者間で578～1,285円/1頭・日の差があることが分かりました（平均837円/1頭・日）。この要因として図のように初産分別月齢の影響が大きいとされます。

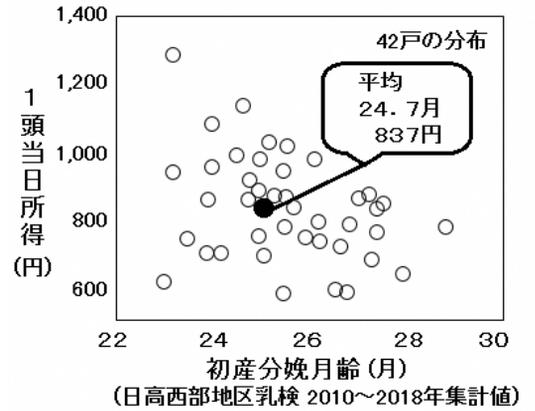
生涯日所得と初産分娩月齢の改善が必要な場合は、その状況を調査し原因を見つけることが重要です。

日高町の6戸で①育成牛の体高・体重測定
②飼料給与の聞き取り調査をしました。

体重測定は、従来「胸囲」で推定しますが子牛は嫌がります。そこで写真のように「寛幅」で行うことで容易に測定することが出来ます。今後は、調査結果を基に発育の改善と適期種付け、飼養管理の提案を行っていきます。



体重 (kg)	寛幅 (cm)
50	22.2
100	25.8
200	32.3
300	38.0
400	43.0
500	47.1
600	50.4
700	53.0



食品の衛生管理と表示に関する制度が変わります

【広域班】

平成30年6月に「食品衛生法の一部を改正する法律」が公布され、令和2年6月から原則として全ての食品事業者が、HACCPに沿った衛生管理に取り組むこととなっています。農業者による農畜産物加工品の製造・販売やファームレストランも同様で、製造量が少なくてもHACCPの考え方を取り入れた衛生管理を行う必要があります。

「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」で取り組むこと



手引書入手し、衛生管理を理解する



衛生管理計画を作成・実行する



実施したことを確認・記録する

令和2年4月より「食品表示基準」が完全施行となり、一般用加工食品への栄養成分表示が義務化となりました。**熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、ナトリウム（食塩相当量）**の5つの表示が必要です。消費税を納める義務が免除される小規模事業者は、栄養成分表示を省略することができます。ただし、スーパーなどへ販売する場合には必要となります。

栄養成分表示 1袋当たり	
熱量	●● kcal
たんぱく質	▲▲ g
脂質	◆◆ g
炭水化物	■ ■ g
食塩相当量	★ ★ g

「注目！ 地域の話題」コーナー

日高農業生産法人会が「スマート農業研修会」を行いました

【広域班】

令和2年(2020年)1月24日に日高農業生産法人会が「スマート農業研修会」を開催しました。研修会では、ホクレン営農支援センター主任技師 村木 雅人 氏からスマート農業の情報提供と、法人会会長の(株)杉山牧場代表取締役 杉山 憲由 氏から自らの取り組みの発表がありました。法人会では今後このような研修会の開催を通じて、日高農業の発展に資する情報発信を行っていきます。



ホクレン営農支援センター 村木氏



(株)杉山牧場 杉山氏



研修会の様子

静内農業高校がAS I AGAPの認証を取得しました！

【広域班】

令和2年2月3日、静内農業高校でAS I AGAP審査が行われました。審査はGAPに取り組んだ3年生5名を中心に行いました。審査員の質問にしっかりと返答し、無事審査は終了。1ヶ月後の3月3日に認証を取得しました。日高管内初のAS I AGAP認証取得です！

また当日は、管内農業者向けGAP研修会も併せて開催し、GAPの基礎や取り組み事例を紹介、AS I AGAPの現地点検と書類点検も視察しました。



AS I AGAP 書類審査

令和2年4月1日付けで職員の異動がありました

〈 よろしくお願ひします 〉

本所 所長 宮町 良治

活力ある農業、元気の出る地域を目指し皆様と共に頑張りたいと思います。

本所 主任普及指導員 石岡 康彦

20年ぶりの日高勤務です。地域の力になれるようにがんばります。

本所 地域第二係長 浦上 渉

皆様方が営農を通して、より笑顔になれるよう頑張ります。

本所 主査(地域支援) 千田 智子

初の日高勤務ですが、地域のために役立つよう頑張ります。

本所主査(担い手) 脇坂 裕二

豊かな土地・日高で勤務できる事を嬉しく思っております。

本所 主査(軽種馬) 渋谷 敦子

「馬の産地」日高は初めてです。微力ながら精一杯がんばります。

西部支所 地域係長 相場 勝

はじめての日高ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

西部支所 専門普及職員 富樫 麻衣

新規採用で日高西部支所勤務となりました。よろしくお願いいたします。

な
お
り
世
ま
話
し
た
に

	役職	氏名	転出先	
本所	所長	葛西 育子	石狩農業改良普及センター	本所
本所	主任普及指導員	仲島 亮介	十勝農業改良普及センター	東部支所
本所	地域第二係長	福屋 秀樹	留萌農業改良普及センター	本所
本所	主査(地域支援)	大島 政博	十勝農業改良普及センター	本所
本所	主査(軽種馬)	川田 恒	石狩農業改良普及センター	本所
本所	専門普及指導員	小川 伸一	胆振農業改良普及センター	東胆振支所
西部支所	地域係長	新井 佳紀	留萌農業改良普及センター	南留萌支所
西部支所	専門主任	高田 伸子	空知農業改良普及センター	南西部支所

日高農業改良普及センター本所 TEL 0146-42-1489 FAX 0146-42-2521
〒056-0005 日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目2番10号

日高農業改良普及センター日高西部支所 TEL 01457-2-2055 FAX 01457-2-2918
〒055-0107 沙流郡平取町本町105-6

日高農業改良普及センターホームページアドレス <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/>